

# 「2013年度 県立相模原総合高等学校 被災地復興支援活動」

～宮城県東松島市の子ども達にクリスマス・プレゼントを贈りました～

## 1. 活動の概要

震災から2年経っても「あの日のことを忘れてはいけない」という生徒の思いから、今年度も被災地復興支援活動を続けていくことになりました。1年目の岩手県(大船渡市立赤崎小学校へ約90万円の物資支援)、2年目の福島県(福島県南相馬市立真野・福浦小学校へ約75万円の物資支援)に引き続き、3年目となる今年度も「SAGASO Cheering Project 2013」として活動しました。

5月より「届けよう被災地の子どもたちに支援の心を」との言葉を掲げ、被災地の「子ども達の笑顔」のために全校生徒が協力して、様々なプロジェクトを実施しました。

### 【実施プロジェクト】

NO	内容	実施月	義援金
①	第1回街頭募金活動	5月	182,516円
②	体育祭で「クッキー」販売	6月	26,581円
③	体育祭で「アイス」販売	6月	6,400円
④	吹奏楽部定期演奏会で募金活動	9月	10,025円
⑤	文化祭売上げから義援金	9月	78,607円
⑥	文化祭資源ゴミから義援金	9月	1,376円
⑦	復興支援活動表彰による副賞	10月	10,000円
⑧	第2回街頭募金活動	10月	48,892円
⑨	第3回街頭募金活動	11月	339,760円

その他 778円

義援金合計 **704,935円**

3年間の義援金合計 **2,389,912円**



有志による募金活動

## 2. 活動の成果等

今年度も、「子ども達の笑顔」のために全校生徒が協力して様々なプロジェクトを実施し、総額 **704,935円**もの義援金を集めることができました。

生徒会で今年の支援先を検討したところ、宮城県の中で津波による住宅地・市街地の浸水率が最も高い東松島市の「野蒜小学校」へ、学校で必要とする品物を「クリスマスプレゼント」として贈りました。

また品物とあわせて、昨年度と同様に本校生徒の思いを込めた「応援旗」と、子ども達一人ひとりに応援メッセージを入れた「手作りのクリスマスカード」も贈りました。

3年間で集めた義援金総額は **2,389,912円**にもなり、活動当初の趣旨である「高校生でも、全校生徒が力を合わせ継続して活動すれば大きな支援ができる」ことを達成することができました。

### 【支援先】

宮城県東松島市立「野蒜小学校」(全校生徒161名)

・津波により甚大な被害を受け、現在は仮設校舎にて授業を実施している。

### 【支援物資】

- ① 簡易教材提示装置、ワイヤレスマイク、発表板(学習発表会や授業で使用)
- ② 赤ちゃんの大きさ体感モデル、胎児の大きさ体感モデル(「いのちの教育」等で使用)
- ③ 授業用教材(楽器、内臓の大きさ体感モデルー理科で使用)
- ④ 図書室用の本(15万円分)
- ⑤ 「応援旗(210cm×140cm)」
- ⑥ 全児童161名に本校生徒有志161名より、「手作りのクリスマスカード」と「クリスマスのお菓子」



手作りのクリスマスカード

☆ 「SAGASO Cheering Project2013」を終えて…  
 震災支援プロジェクトリーダー 古谷 飛世子

震災が発生し3年が経つ今年度も「届けよう被災地の子どもたちに支援の心を」をテーマに様々な支援活動に取り組んできました。震災発生から日が経っているので、当初に比べて多くの方々から“震災”の記憶が薄れてしまい、義援金があまり集まらないのではないかと不安でした。

しかし、地域の多くの方々には協力していただけたおかげで約70万円もの義援金が集まりました。多くの方々へ感謝すると共に、この活動の責任をとっても感じる1年でした。

このプロジェクトに携わったすべての人の想いを子どもたちに届け、少しでも子どもたちのお役に立つことができたら幸いです。

これからも被災地のために自分たちができることを続けていきたいです。



体育祭での調理同好会によるクッキー作り・販売



クリスマスツリーの前で募金活動

☆ 子ども達からのお礼の「手紙」と「写真」

